識　名　園

－識名園排水整理事業の発掘調査概要－

2007年３月

那覇市教育委員会

識　名　園

－識名園排水整理事業の発掘調査概要－

2007年３月

那覇市教育委員会

例　　言

1．本書は、那覇市教育委員会が国・県の補助を受けて実施した「識名園内の発掘調査」の概要を収録したものである。

2．調査は「識名園排水整備事業」に伴うもので、那覇市教育委員会が実施したものである。

3．編集・執筆は金城の協力を得て、島が行った。

4．調査体制は下記のとおりである。

調査責任者	仲田美加子（那覇市教育委員会　教育長）	平成16・17年度
	桃原　致上（　〃　）	平成18年度
調査総括	古塚　達朗（　〃　文化財課　課長）	
調査員	島　　弘（　〃　〃　主任専門員）	
発掘作業員	天久尚弥・上原豊幸・奥浜悦子・喜瀬彰・熊田良一・崎浜悠貴 崎浜スエ子・潮平雅義・浜崎俊介・比嘉桃子・譜久原剛 外間政也・松田知洋・又吉志麻子・宮城圭太・宮里哲郎 諸見里幸子・山田美佐恵・山城嘉勝	
資料整理	金城愛子・高江州かい	

5. 第１図は　国土基本図は、国土地理院発行のものを複製した。

6. 出土した資料については、すべて那覇市教育委員会文化財課で保管している。

はじめに

識名園の排水整備事業に伴って行った発掘調査の概要について紹介する。国指定特別名勝「識名園」は、沖縄県唯一の池を巡る「廻遊式庭園」であったが、先の大戦で壊滅的な打撃を受け、戦後30年にわたり荒廃した状況であった。その識名園を昭和50年から復元整備が開始され20余年の歳月をかけて復元整備が成された。平成７年からは一般公開が実施され、平成12年には世界遺産に登録されて、県内外から数多くの来園者が訪れている。

ところが、雨天時や降雨後の園内での排水状況がひどく、所々に水溜りや土砂の流失等が顕著に見られるようになった。そのために、排水の改善策が求められ「識名園排水整備検討委員会」が設置された。特に、正門から育徳泉にかけての園路周辺について、雨水に伴って土砂の流失が著しかった。それらの検討している中で、現況では排水施設は見られないが、本来は排水施設が整備されていたのではないかとの意見が出された。これを受けて、周辺について発掘調査を実施し、排水施設の確認作業が求められた。それらのことを踏まえて、平成16～18年度にかけて発掘調査を実施した。以下に概要を示す。

発掘調査の概要

第３図に示したとおり、「正門からの園路・舟揚場への園路」「築山部」「勧耕台への園路」を対象に行った。

園路部（図版１～９）

正門からの園路の両サイドを調査すると池側よりの園路サイドに約65㎝の帯状の集積遺構が見られた。これらの集積遺構は約５㎝程度の小さい石を充填し、地形に沿って堰状の長方形の大ぶりの石を配することが確認された。どうも、上(正門)からの雨水などの勢いを弱めるための施設のようであった。ちなみに正門側では、集積遺構は確認できなかったが正門と池側の中ほどで堰状の大振りの石が検出された。本来は石畳の両サイド全面に見られたものと思われた。また、舟揚場への分岐点からは、縁石のみを配し、小ジャリを充填した道がＳ字状に新たに確認された。本道には排水施設は見られなかった。どうも、大雨の際はこの道自体が排水路の役割を担った可能性が高いようであった。階段①では、階段の最下部より現行の階段の軸線とは異なる踏み石が縁石に沿って新たに検出された。

築山部（図版10～14）

築山にはいくつかのトレンチを設定し調査を行った。

育徳泉のほぼ斜め前よりカマド跡が４基確認された。当初は夜の舟遊びのため篝火等を想定されたが、カマド跡内部より釘が打ち込まれた廃材などが炭化

した状況で出土した。どうも、戦中の炊き出しのカマド跡であることが聞き取り調査によって明らかになった。

築山部は、戦後赤土（国頭マージ）等を表土約40㎝程かさ上げ（盛土）されており、本来の築山はもっと低いことが明らかになった。また、西側から池側への延びる丘陵部を掘削して舟揚場への園路部と築山を構築していることも明らかにされた。

さらに、横Ⅲトレンチにおいては、沖縄先史・グスク時代の土器片を包含している円形の落ち込みも確認された。西側の丘陵台地で確認されている識名園内遺跡との関連が示唆された遺構であった。

試掘坑（Ｔ・Ｐ１～３）（図版14下～16）

舟揚道より歓耕台へ向かう園路に３ヶ所設けて行った。Ｔ・Ｐ１において表土より約20㎝レベルで20㎝弱の琉球石灰岩の石を隙間を設ける形で乱雑に敷き詰められていた。

Ｔ・Ｐ２でも同様の出土状況であった。Ｔ・Ｐ３では表土下60㎝で地山の琉球石灰岩が露出した。いずれの試掘坑も雨天の際にも水は溜らず、浸透性が高いことが確認された。これらの琉球石灰岩を敷き詰める技法は、往時の識名園の排水方法であることが想定された。

出土遺物

第１表に示したとおり、破片で439点が得られている。調査区が生活の場でないので、日用品の碗・皿類の出土は少ない。それでも、沖縄産陶器等の出土が見られた。その中で、正門・育徳泉の調査区では瓦類の出土が顕著に見られる。その他に、丸釘の出土もカマド跡付近で見られ注目された。また、識名園とは直接は関連しないが、先史時代やグスク時代土器も得られたことも留意された。

おわりに

以上、「正門・舟揚場への園路」「築山部」「歓耕台への園路」周辺の排水状況の調査概要について紹介した。正門園路では、コの字状の側溝を想定していたが、まったく異なる排水施設が見られた。築山部では現行より低い築山が想定され、歓耕台への園路（試掘坑）では人頭大の石を敷く排水施設等が確認された。このように発掘調査によって作庭工事の種々の工夫が明らかにされたことは意義深いものと考える。今後は、この調査成果を活かしながら排水整備を行う予定である。

第1表　出土遺物一覧概要

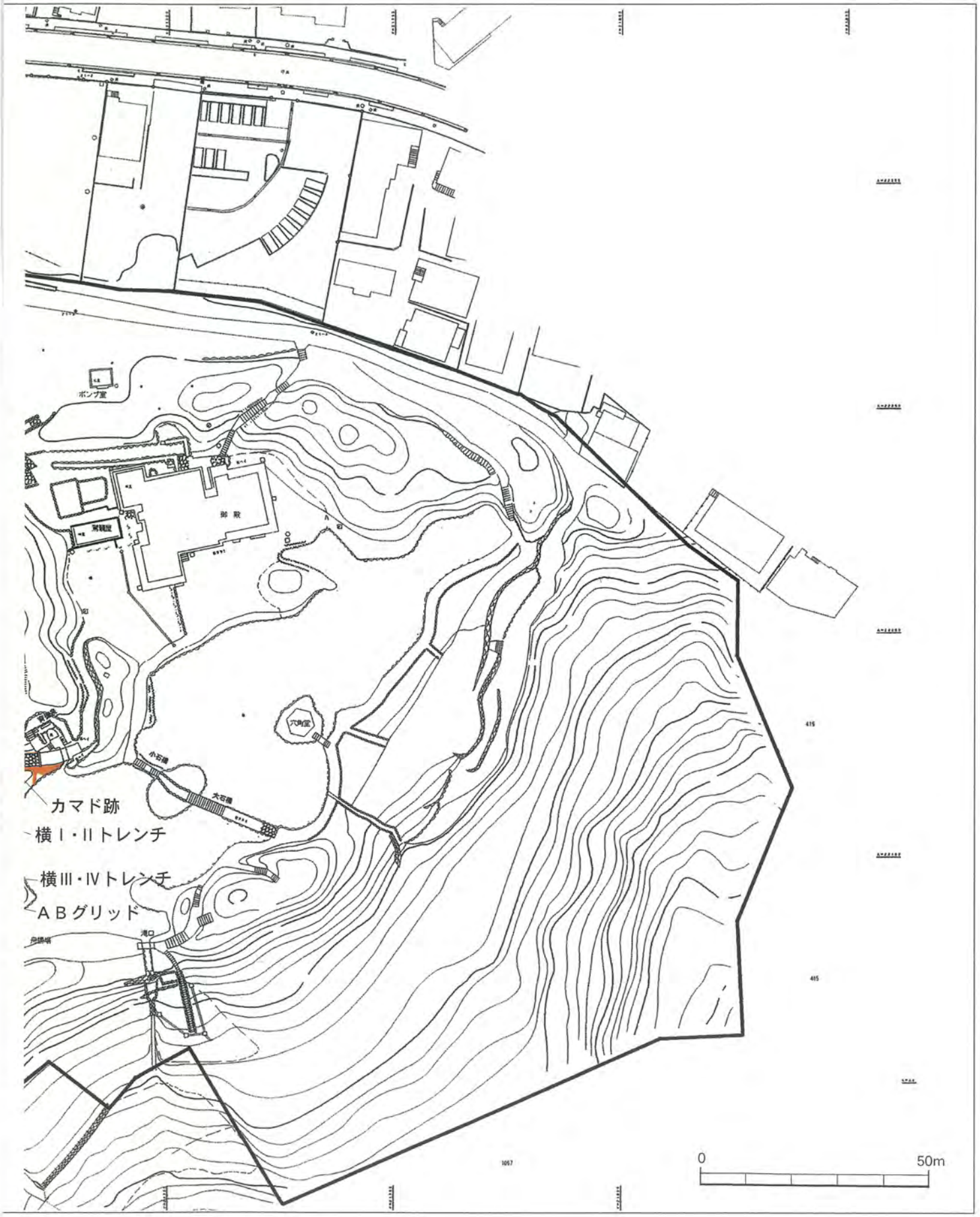
器種		出土地点	表土層	正門側溝 右	正門側溝 右 1号カマ	正門側溝 左	築山 Iトレンチ	築山 縦Iトレンチ	築山 IIトレンチ	築山 IIIトレンチ	築山 IVトレンチ	築山 Aグリッド	築山 Bグリッド	舟揚場への園路 0	舟揚場への園路 1	舟揚場への園路 2	舟揚場への園路 3	舟揚場への園路 4	舟揚場への園路 5	舟揚場への園路 トレンチ4	T・P2	T・P3	不明	合計
外国産陶磁器	青磁	碗								1														1
		皿					1																	1
	白磁	小杯					1																	1
		合子								1														1
	青花	碗				1																		1
		杯									1						1							2
		不明														1								1
	瑠璃釉	壺								1														1
	褐釉	壺		1																				1
		不明		3											1									4
	施釉陶器	壺							1															1
		不明							1															1
	無釉陶器	不明		1		1				1														3
本土産陶磁器	青磁	皿		1																				1
	白磁	碗		1																				1
		不明		1																				1
	印判染付	皿	1			2																		3
		小皿	1																					1
		杯		1																				1
	染付	碗	1	2											1									4
		小碗		1																				1
		小杯				1																		1
		皿		1																				1
	色絵	小碗													1									1
		碗		1		1																		2
		筒型														1								1
	磁器	碗		4																				4
		小皿				1																		1
	施釉陶器	鍋								1														1
		急須											1											1
		兵隊茶碗		1																				1
		不明		1			1		2															4
	無釉陶器	鉢		1	1		1																	3
		不明		9	1										1									11
沖縄産陶器	施釉陶器	碗		2			1	1	1															5
		壺		1																				1
		蓋		1		1																		2
		鉢							1															1
		香炉				1																		1
		袋物				1																		1
		急須		2																				2
		土鍋							1															1
		不明		2							1													3
	無釉陶器	壺		1		1				1														3
		鉢		3		1	1								1									6
		擂鉢		3		2																	1	6
		火炉		1		1																		2
		小皿								1														1
		灯明皿					1																	1
		不明		22		4			1		1			1	3			1					1	34
	陶質土器	不明		5							1											1		7
土器	前期	不明								6					1						1			8
	中期	不明								1														1
	グスク	不明		1		1																	1	3
須恵器		不明					1																	1
土製品		不明		1					1															2
石器				6							1													7
石器片				1						1	1													3
石材				1						3	2					1						1		8
瓦	平瓦	灰		2																				2
		赤		11		6									1								1	19
	丸瓦	赤		1																			1	2
	軒丸瓦	赤		1																				1
円盤状製品				2																				2
銭貨				1																				1
釘	角釘			5			1											1			1	1		9
	丸釘			95	35	16	4		1			1		1	4	1		1		2	5	1	8	175
釣針				1																				1
硯？				1																				1
レンガ				6	3																		1	10
レンガ？				8	10		1		1						1									21
獣骨				3	1				1	1												3		9
不明				5		3	2												2					12
合計			3	225	51	45	16	1	12	19	8	1	1	2	15	4	1	3	2	2	7	7	14	439

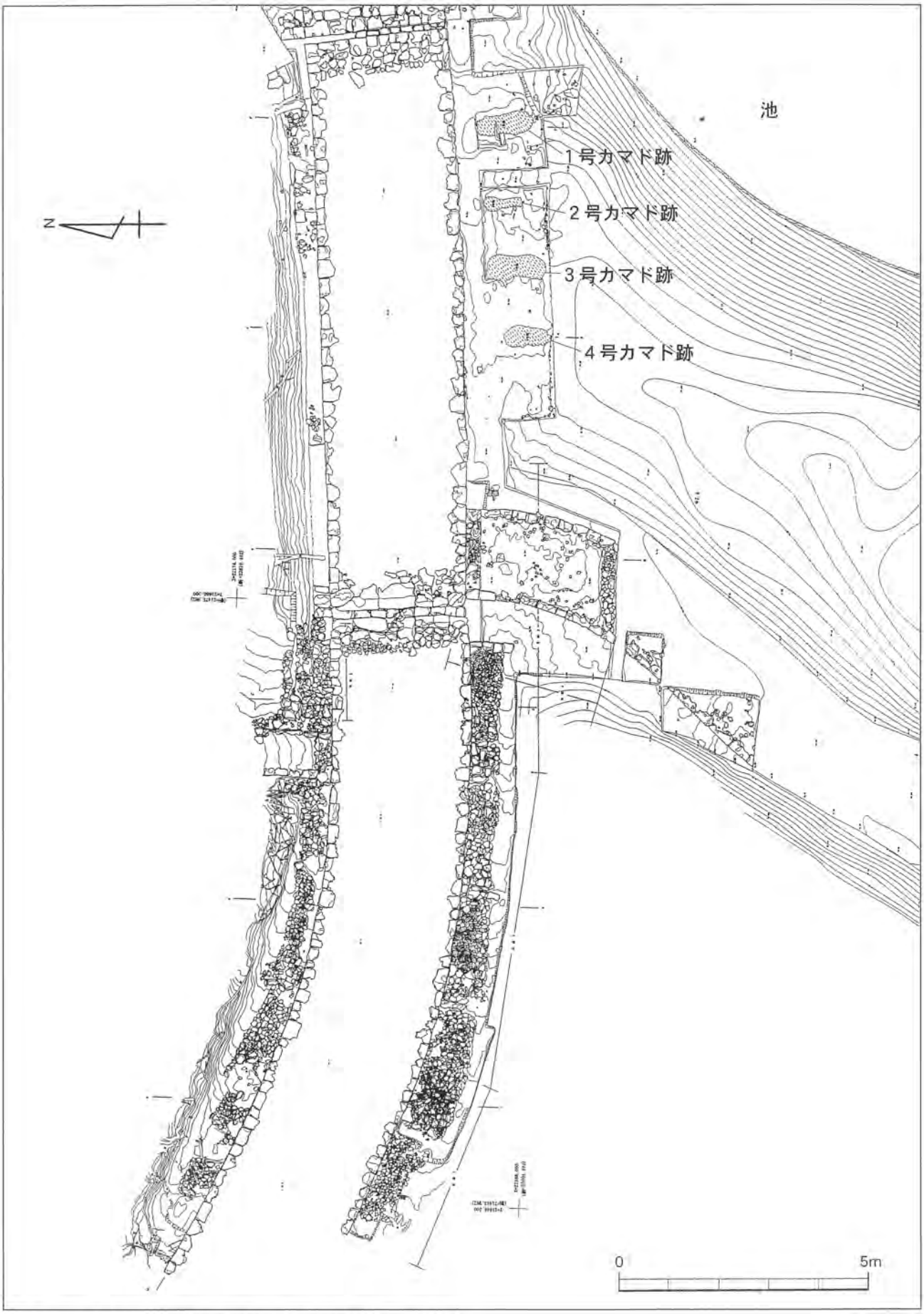
番　号	庭　園　名	番　号	庭　園　名
1	伊江殿内の庭園 （元伊江御殿別荘）	6	伊江殿内の庭園
2	同楽苑（久場川の御殿）	7	当真家の庭園（華茶苑）
3	中里朝之氏の庭園 （読谷山御殿の庭園）	8	首里城
4	玉那覇有紀氏庭園 （仲田殿内の庭園）	9	東苑 （御茶屋御殿・崎山御殿）
5	中城御殿跡庭園	10	識名園

第１図　那覇市内の主な庭園分布図（『那覇市歴史地図』を参考に作成）　（S＝1/50,000）

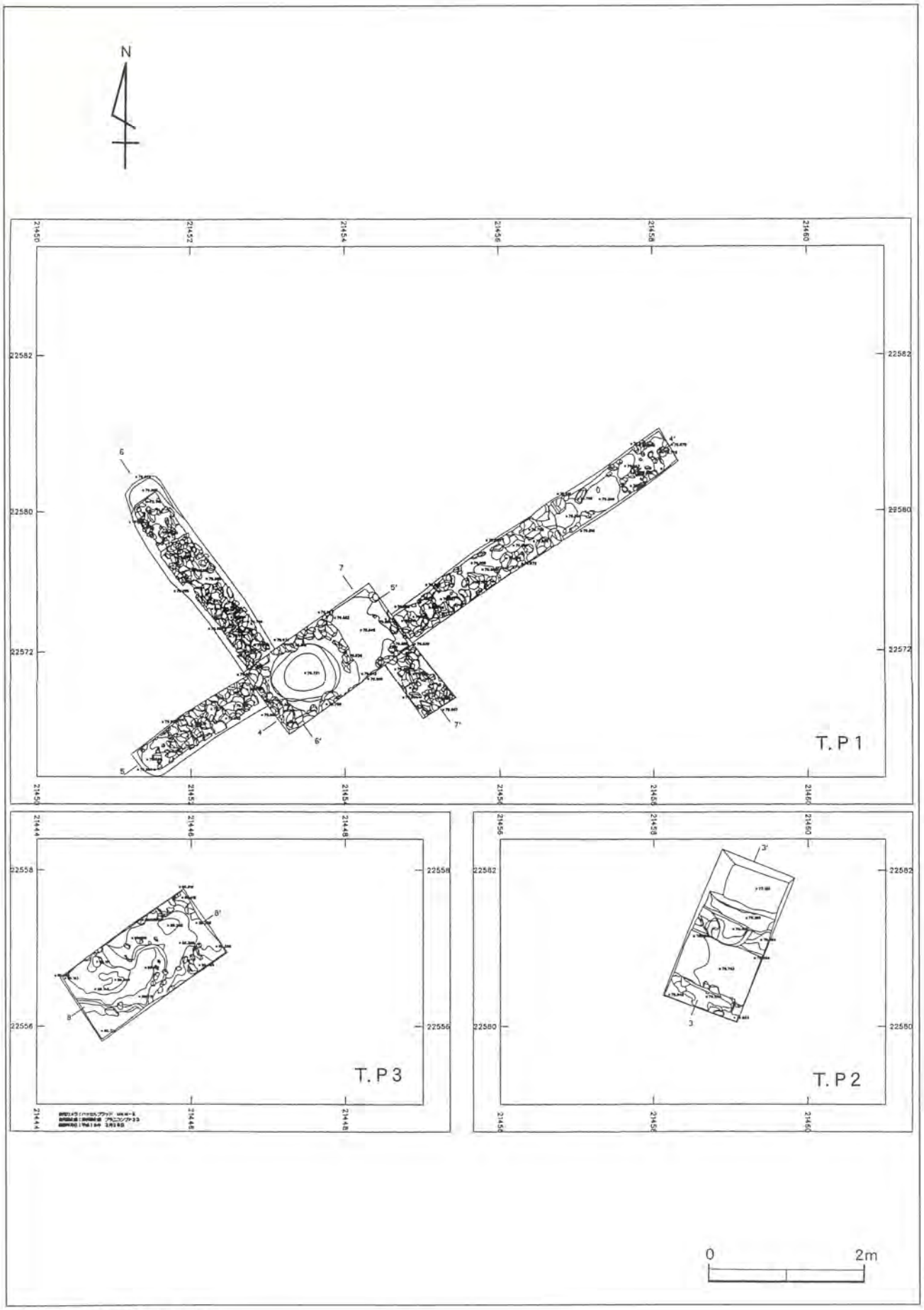
第２図　識名園の位置　　（S＝1/3,500）

第３図　発掘調査年次計画図


ポンプ室
御殿
管理室
穴倉庫
小石橋
大石橋
カマド跡
横Ⅰ・Ⅱトレンチ
横Ⅲ・Ⅳトレンチ
ＡＢグリッド
滝口
0
50m



第4図　正門からの園路・舟揚場への道園路、平面図



第５図　試掘坑の平面図

図版 1　上：正門からの園路　調査風景（奥に池が望める）
下：正門からの園路　調査風景

図版 2　上：正門からの園路　完掘状況
下：正門からの園路　両サイド集石遺構検出状況（手前は溝Ⅰ）

図版 3　上：正門からの園路　右側集石遺構検出状況
下：正門からの園路　左側集石遺構検出状況

図版 4　上：正門からの園路　僅かに残った堰状遺構
下：正門からの園路　溝 I 近景

図版5　上：正門からの園路　溝Ⅱの検出状況
下：正門からの園路と舟揚場への園路の検出状況

図版 6　上：舟揚場への園路　検出状況
下：舟揚場への園路　検出状況（左手は築山）

図版 7　上：舟揚場への園路（右手に築山）
下：舟揚場への園路と階段①の検出状況

図版８　上：舟揚場への園路と階段①
下：階段①　新たに検出された石段

図版 9　上：舟揚場への園路　Ⅲトレンチ状況（底面に青灰色土（クチャ土）を確認）
下：階段②　状況（下位に石列が観察される）

図版10　上：築山　A・Bグリッド調査風景（手前は舟揚場）
下：築山　A・Bグリッド調査状況

図版11　上：築山　Bグリッド壁面状況
下：築山　縦Ⅰトレンチ調査風景

図版12　上：舟揚場への園路と築山の調査風景
下：カマド跡の出土状況（左から２～４号）

図版13　上：築山　横Ⅱトレンチ　焼土と炭痕の検出状況
下：１号カマド跡　検出状況

図版14　上：１号カマド跡　検出状況
下：Ｔ・Ｐ３　完掘状況

図版15　上：Ｔ・Ｐ１　調査状況
下：Ｔ・Ｐ１　近景

図版16　上：Ｔ・Ｐ１　断面状況
下：Ｔ・Ｐ２　断面状況（左側新しく確認された石列）

発行／那覇市教育委員会　〒900－8553　沖縄県那覇市樋川2－8－8
電話（098)891－3501
編集／那覇市教育委員会文化財課
印刷／文進印刷株式会社　〒901－0305　沖縄県糸満市西崎町5－10－14
電話（098)994－5777